

JASDAQ

コード番号
6918








株式会社アバルデータ

業績報告と会社概要 中期経営計画概要

(第48期 2006年度-第50期 2008年度)

ご報告内容

1. 会社概要 
2. 第48期業績予想 (修正) 
3. 第48期第1四半期の業績報告 (既報) 
4. 第47期業績報告 (既報) 
5. 第50期中期経営計画概要 

 **AVAL DATA CORPORATION**

2006年9月20日
(CPP-0609-A)

JASDAQ

コード番号
6918



株式会社アバルデータ 会社概要

 **AVAL DATA CORPORATION**

2006年6月23日
(CPP-0606-1-A)





企業理念

私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。





会社概要

本社・町田事業所

株式会社アバールデータ

本社・町田事業所 東京都町田市旭町1-25-10

厚木事業所 神奈川県厚木市金田1041

代表取締役 嶋村 清

会社設立 1959年8月

資本金 23億5409万円

従業員 170名

1991年 JASDAQに店頭公開

1995年 ISO9001認証取得

2001年 ISO14001認証取得



株式会社アバール長崎

本社 長崎県諫早市津久葉町6-42

情報機器事業部 神奈川県厚木市中町4-10-2

代表取締役 川浪 義光

会社設立 1987年11月

資本金 1億3400万円

従業員 125名

1996年 ISO9001認証取得

2006年 ISO14001認証取得





沿革

- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社を設立

- 1979 ○ ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表

- 1985 ○ CPU68000を搭載したVMEbusモジュールコンピュータを開発

- 1987 ● 新会社「株式会社アバール長崎」を設立

- 1988 ○ 画像処理製品プロジェクトを発足

- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更

- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録（現JASDAQ）

- 1995 ● 品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得

- 1997 ○ Compact PCI busモジュールを初めて国産化

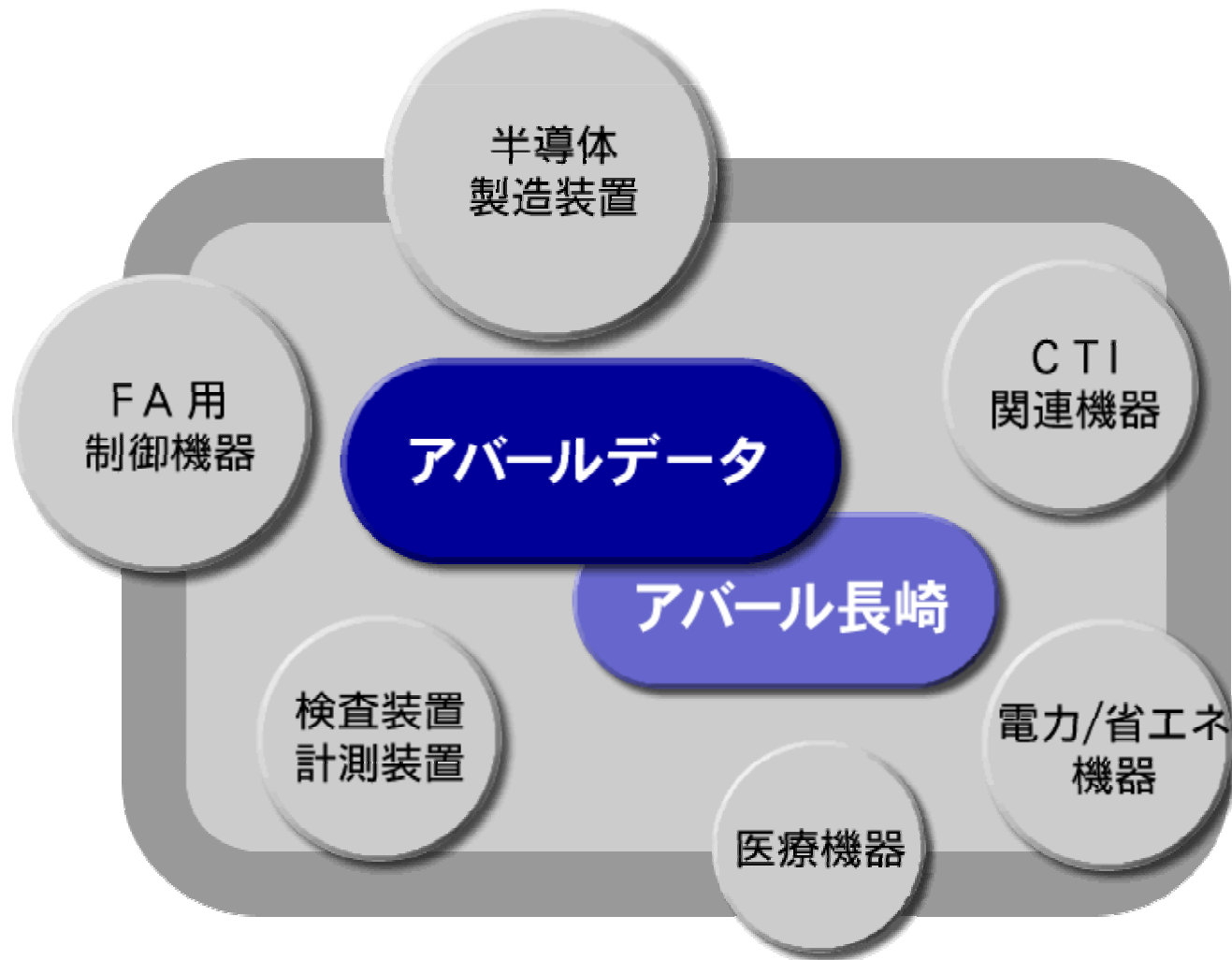
- 2001 ● 環境マネジメント国際規格ISO14001の認証を取得

- 2003 ● (株)アクセルと画像描画・伸張LSI応用システム製品事業の協業で合意

- 2005 ○ (株)アクセルとの共同開発成果の第一弾「AX-POP」端末コンセプトモデルを完成



アバル・グループの関連事業分野





環境対策 (RoHS指令への全対応)



2004年7月
鉛はんだフリー対応開始

2005年10月
新規設計製品
100%の鉛はんだフリー対応実施

2006年1月
RoHS指令対応開始

2006年7月
新規設計製品
100%のRoHS指令対応実施へ

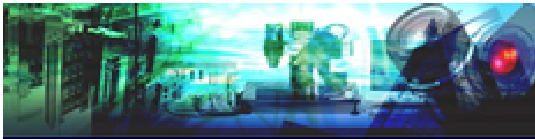


鉛はんだフリー対応ライン

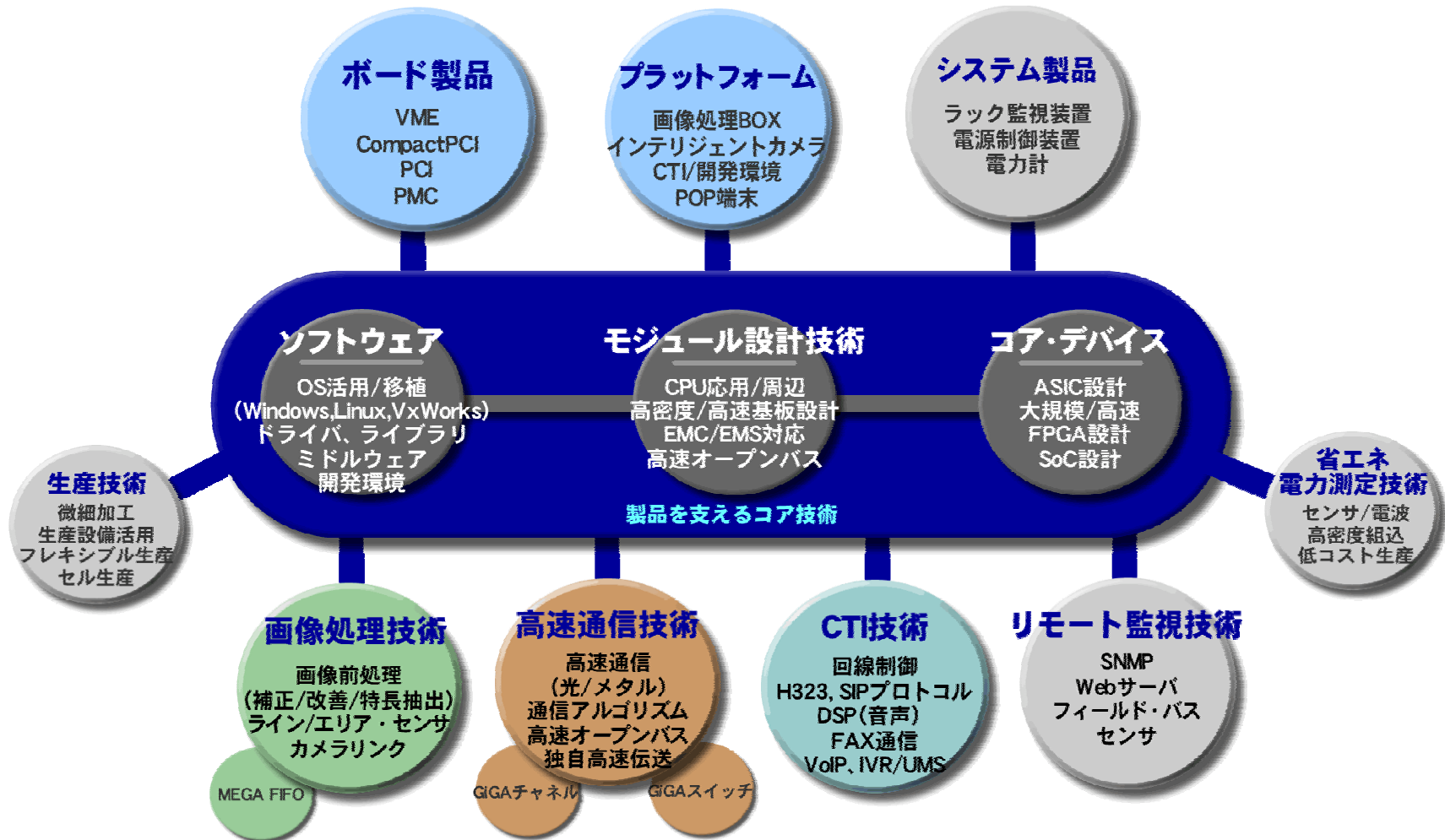


有害物質分析装置



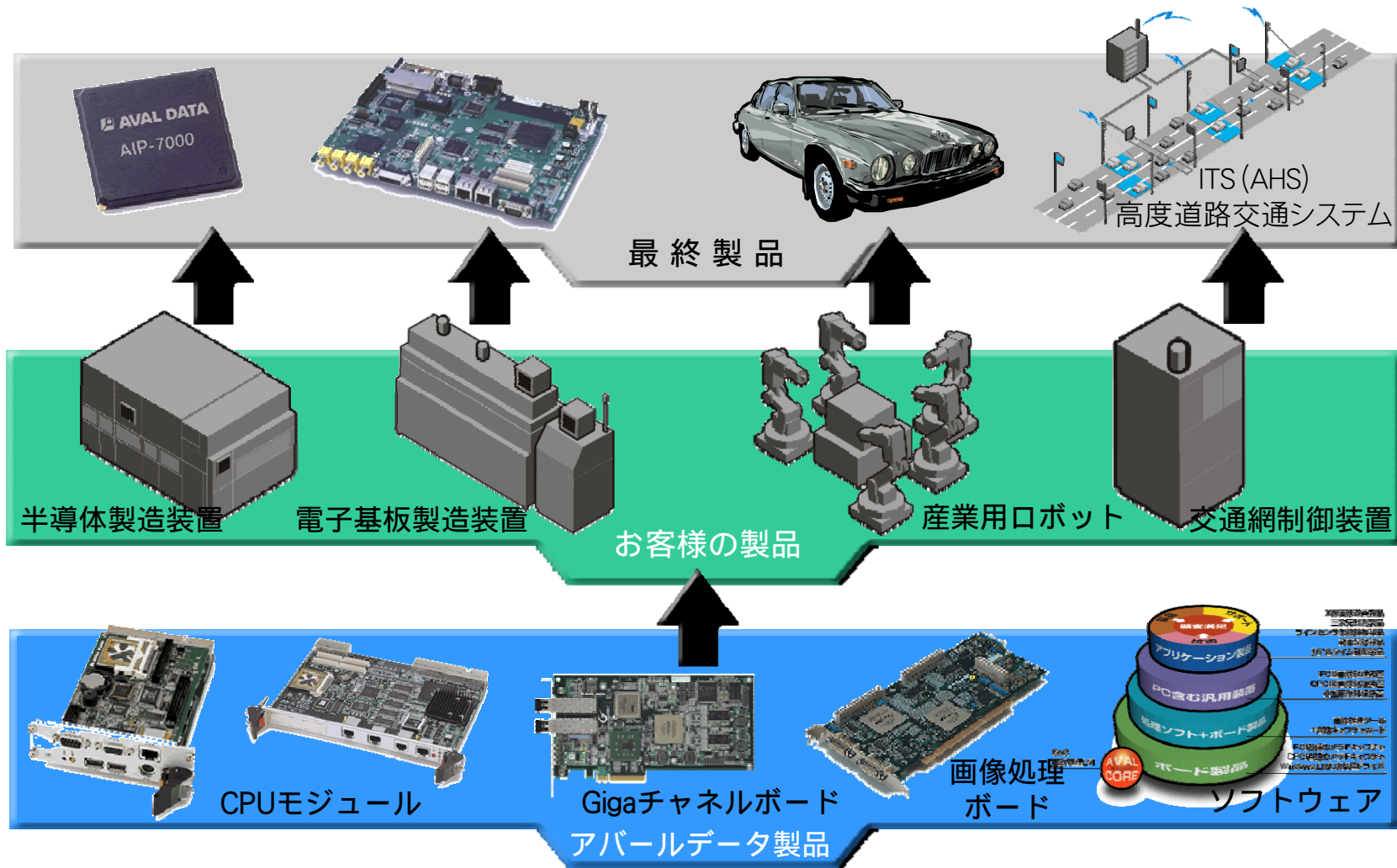


アバールデータのコア技術





製品の利用分野 (世界の製造業を支えています)

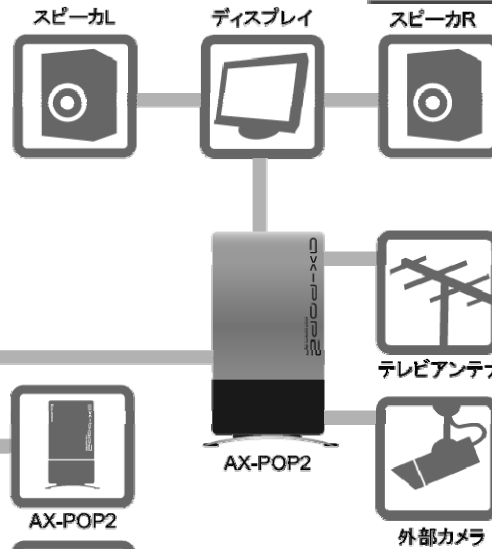
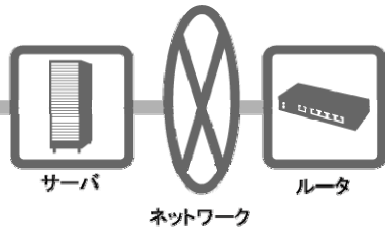
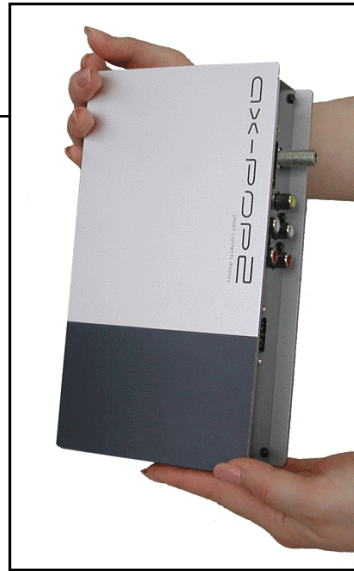




新しいコア技術の応用 (情報端末プラットフォーム)

情報表示端末・情報配信システムなど多彩な可能性

パソコンによる従来の製品と比べ、高い安定性とコストパフォーマンスでPOP端末、マルチメディア情報端末のプラットフォームに最適



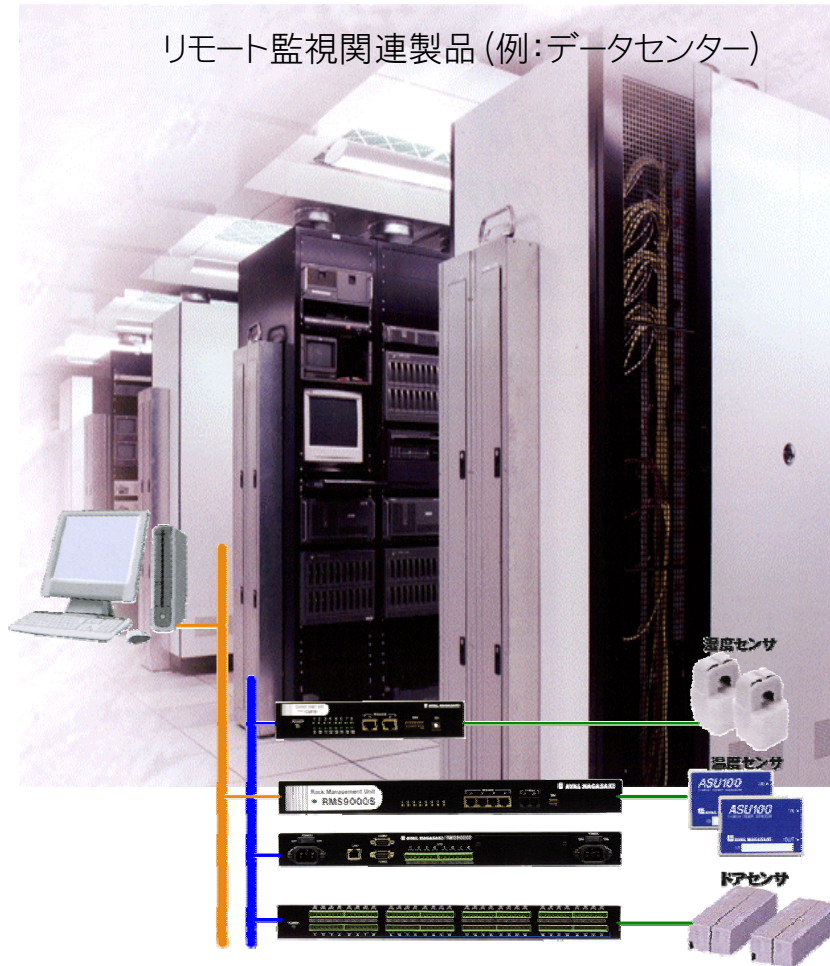
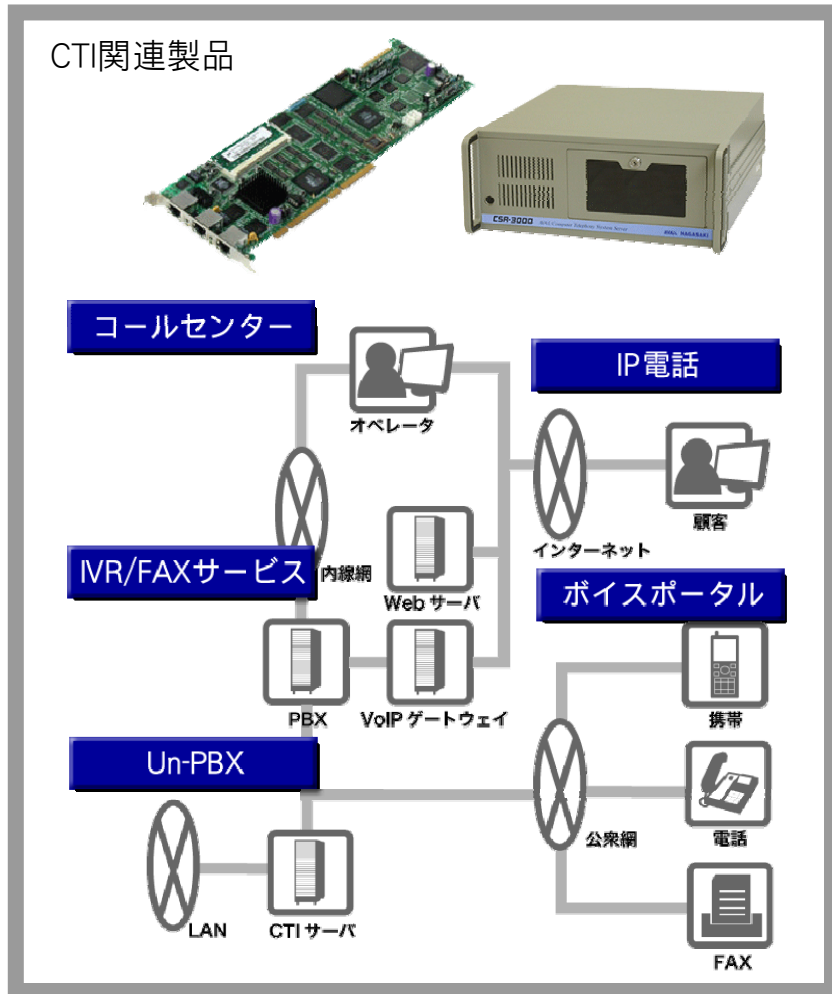
卓越した高速描画能力と可逆圧縮機能を集積し、低価格で高いグラフィックス性能を提供する描画プロセッサ





通信・CTIコア技術の応用

国内随一のCTI技術に加え、ネットワーク監視にも進出



Rev. 27

JASDAQ

コード番号
6918



株式会社アバルデータ

New 第48期(2006年度)の業績予想 (修正)

[期間：2006年4月1日-2007年3月31日]

AVAL DATA CORPORATION

2006年9月20日
(CPP-0608-4-B)



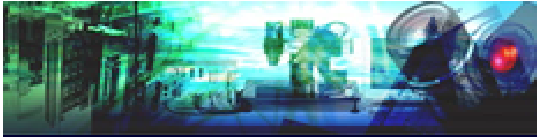
第48期 営業品目別業績予想

営業品目別（単体/連結）2006年4月1日-2007年3月31日

単位 百万円

品目	項目	単体			連結		
		06/5/18 発表値	06/9/20 発表値	伸び率 前期比	06/5/18 発表値	06/9/20 発表値	伸び率 前期比
自社製品	組み込みモジュール	950	1,200	54.2%	955	1,210	53.6%
	画像処理モジュール	820	780	11.7%	820	780	11.6%
	計測通信機器	480	420	123.4%	1,050	1,020	-10.9%
受託製品	半導体製造装置	2,840	3,010	5.9%	3,620	3,950	14.3%
	産業用制御装置	240	240	92.0%	850	1,100	65.9%
	計測機器	300	420	21.7%	1,300	1,450	31.3%
商品（自社製品関連）		170	170	1.2%	205	190	-11.2%
売上合計		5,800	6,240	21.3%	8,800	9,700	20.2%
営業利益		740	950	67.3%	1,150	1,500	40.1%
経常利益		850	1,060	62.1%	1,200	1,550	39.5%

(注) 自社製品/受託製品の製品構成が第48期から変更されています。



第48期主な挑戦課題

「強い体質の維持」 & 「攻めの経営」への第1歩

◆ 収益目標・経営目標の達成

- 売上目標 97.0億円（単体：62.4億円）、経常利益 15.5億円（単体：10.6億円）
- 中核事業と次期コアビジネスへの戦略的な投資（攻め）と適切な経費維持(体質維持)

◆ Challenge 501Aのスタート年度として挑戦の基礎固め

- 中核事業の収益構造の強化、コア技術・生産革新によるコスト・品質・納期の目標実現
- 次期コアビジネス確立へ、積極的な挑戦と適切な投資、人材育成・活用体制の再構築

◆ 組込・画像・通信の戦略3分野での挑戦

- 画像/通信のコア技術のASIC/FPGA化促進、信頼性・高速性を向上・コストダウン実現
- 「組込・画像・通信」の総合技術によるシステム製品などの提案力を強化

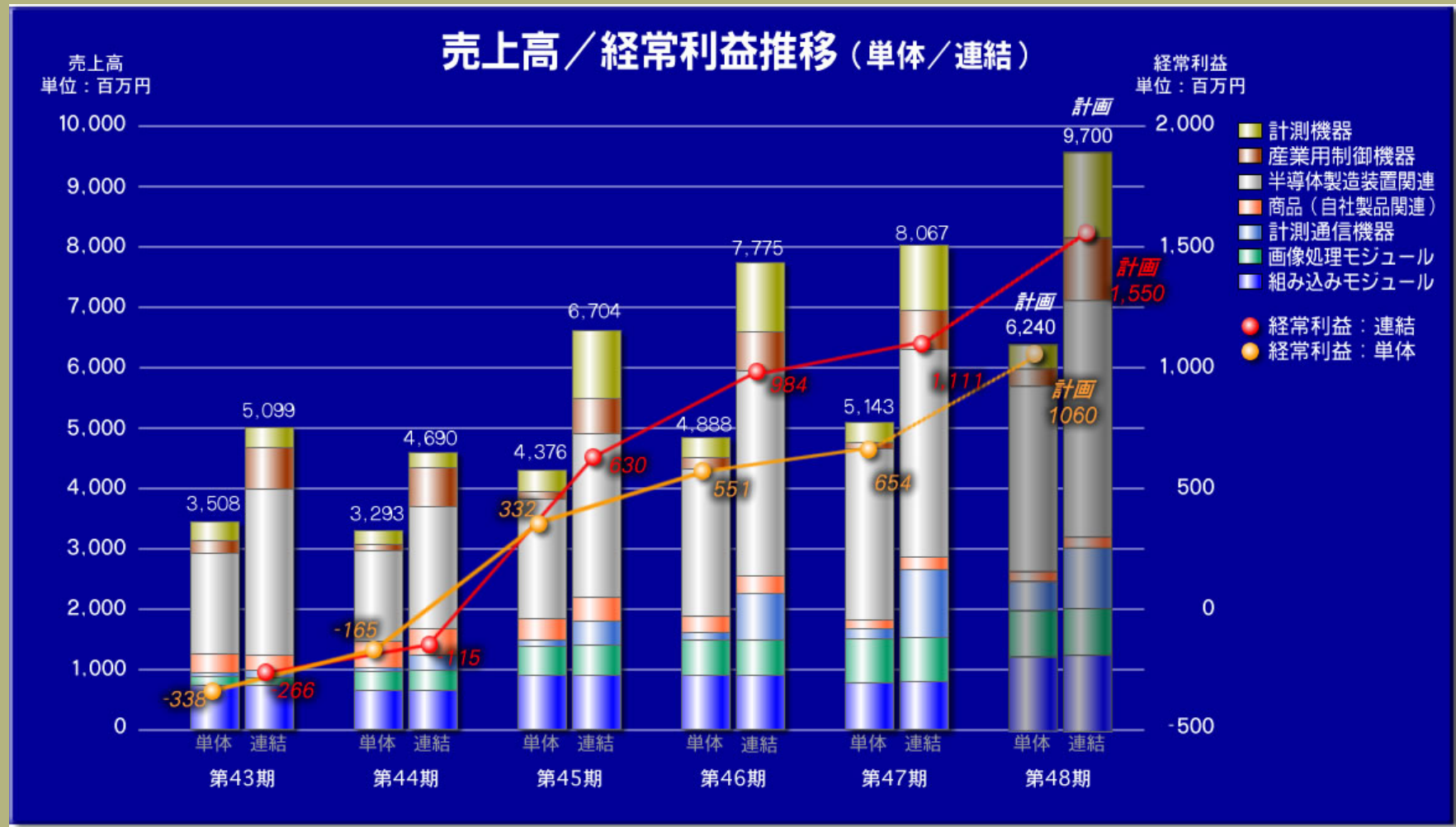
◆ 製造で「持つ強み」をさらに強化、顧客ニーズへの対応強化

- 厚木事業所のマザー工場化、品質・納期・コスト、顧客要求に迅速対応、信頼を獲得



業績の推移

(単体/連結) [2002年3月期-2007年3月期]



(注) 自社製品/受託製品の製品構成が第48期から変更されています。

JASDAQ

コード番号
6918



株式会社アバールデータ

第48期(2006年度) 第1四半期の業績報告 (既報)

[期間：2006年4月1日-2006年6月30日]

 **AVAL DATA CORPORATION**

2006年8月8日
(CPP-0608-2-A)



第48期第1四半期 営業品目別業績

営業品目別 (単体/連結) 2006年4月1日-2006年6月30日

単位 百万円

品目	項目	単体				連結			
		通期 売上予想	第1四半期 実績	進捗率	前年同期 伸び率	通期 売上予想	第1四半期 実績	進捗率	前年同期 伸び率
自社製品	組み込みモジュール	950	308	32.5%	53.3%	955	309	32.4%	52.0%
	画像処理モジュール	820	207	25.3%	22.7%	820	207	25.3%	22.7%
	計測通信機器	480	138	28.9%	287.8%	1,050	264	25.2%	57.8%
受託製品	半導体製造装置	2,840	695	24.5%	-1.8%	3,620	906	25.0%	9.9%
	産業用制御装置	240	81	34.0%	346.1%	850	285	33.6%	115.4%
	計測機器	300	111	37.1%	22.3%	1,300	418	32.2%	52.8%
商品 (自社製品関連)		170	47	27.7%	22.7%	205	48	23.7%	5.4%
売上合計		5,800	1,591	27.4%	26.0%	8,800	2,440	27.7%	34.2%
営業利益		740	253	34.2%	201.3%	1,150	361	31.4%	146.3%
経常利益		850	339	40.0%	119.7%	1,200	391	32.6%	130.7%

(注)「前年同期伸び率」は、第47期同期と比較した伸び率です。

(注) 自社製品/受託製品の製品構成が第48期から変更されています。

JASDAQ

コード番号
6918



株式会社アバルデータ

第47期(2005年度)の業績報告 (既報)

[期間：2005年4月1日-2006年3月31日]

 **AVAL DATA CORPORATION**

2006年8月8日
(CPP-0608-2-A)



第47期 営業品目別業績 (参考)

営業品目別 (単体/連結) 2005年4月1日-2006年3月31日

単位 百万円

項 目		単体		連結	
		売上	伸び率	売上	伸び率
自社製品	組み込みモジュール	777	-13.3%	787	-12.8%
	画像処理モジュール	698	19.6%	698	19.6%
	計測通信機器	187	35.6%	1,144	47.3%
受託製品	半導体製造装置	2,841	16.2%	3,455	1.9%
	産業用制御装置	124	-35.5%	662	1.2%
	計測機器	345	-1.3%	1,104	-4.0%
商品 (自社製品関連)		168	-40.0%	214	-31.7%
売上合計		5,143	5.2%	8,067	3.8%
営業利益		568	21.7%	1,071	15.3%
経常利益		654	18.6%	1,111	12.9%

(注)「伸び率」は、第46期比



第47期業績トピックス | (中期経営計画)

2003年中期経営計画・単体(最終年度)を概ね計画通り達成!

◆収益計画をほぼ予定通り達成しました。

- 売上：51.4億円（目標：52億円）、経常利益：6.54億円（目標：3.5億円）
- 自助努力による成長10%：自社製品売上+78.8%（年率+20%）



◆企業体質の強化（収益性、コアビジネスの強化など）を達成しました。

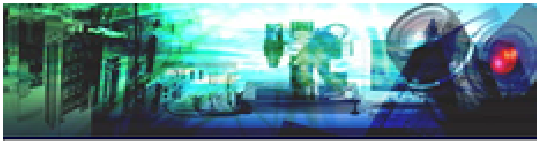
- 「製品の競争力」「収益力」「損益分岐点」「人材」の強化を実現
- 「品質・環境」目標を高いレベルで達成



◆戦略課題も着実に進行しました。

- 「組込・画像・通信」の複数コア技術獲得、提案営業で付加価値が向上
- 製品の開発・販売・生産分野で、強いパートナーとのコラボレーション進行中
- ARP（生産革新）で生産効率が改善、リードタイム短縮、在庫リスク低減
- プロセス重視の成果主義が定着、少数精鋭のプロ集団が進行中
- CSR経営の一環で「正確」「適時」「公正」な情報開示体制を整備





第47期業績トピックスII (生産革新・CSR経営)

産業用フレキシブル生産の効率を最大化・CSR経営の整備

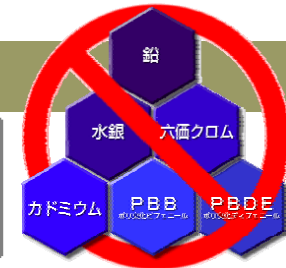
◆ARP(AVALDATA Revolution Plan)の第2フェーズが完成しました。

- お客様の要望への対応を最優先に生産体制を整えました。
- 在庫の極小化、リードタイム短縮、生産短縮を実現しました。

phase2

◆「地球環境にやさしい企業」への対応が進んでいます。

- 鉛フリーで、主力製品・新製品の対応を完了させました。
- RoHS指令対応で顧客・メーカー・協力会社との連携を確立しました。



◆セル生産方式の拡大で効率と品質が向上しました。

- 多品種生産に最適なセル生産方式を拡大しました。
- 多能工の能力向上が進み、対応製品を拡大させました。



◆「CSR経営」体制の整備が進んでいます。

- 法令遵守、情報開示、社会的貢献、安全衛生の体制が整いました。
- 積極的な情報開示、災害支援・緑化支援などを進めました。





第47期業績トピックスⅢ（技術と製品①）

「強み」と「新たな成長分野」へ選択と集中を加速

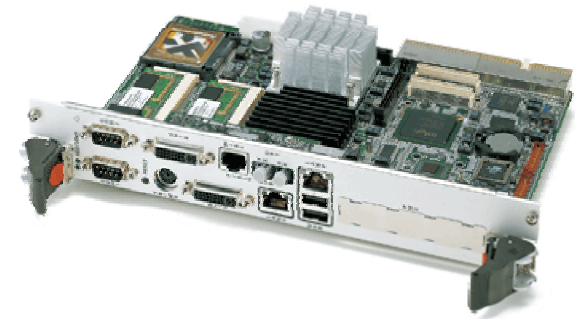
◆アクセル社との協業ビジネスが本格化しました。

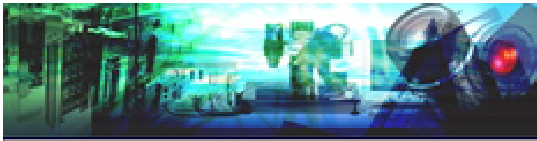
- 本格的なビジネスがスタート、売上にも貢献
- 新プラットフォームによる顧客製品の開発を実施
- 新しい有望な分野へビジネスが拡大、新分野で成果



◆組み込み分野で業界をリードする技術を製品化しました。

- Compact PCI規格の「PCI Express」を業界に先駆け製品化
- PCI ExpressブリッジのASIC化をスタート
- 画像処理や高速伝送向け製品でコストと信頼性にも貢献



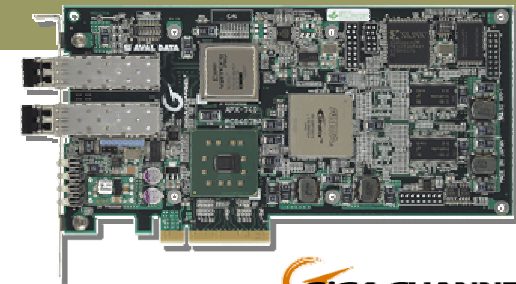


第47期業績トピックスⅣ（技術と製品②）

「強み」と「新たな成長分野」へ選択と集中を加速

◆業界最速Gigaチャネル事業が順調に推移しました。

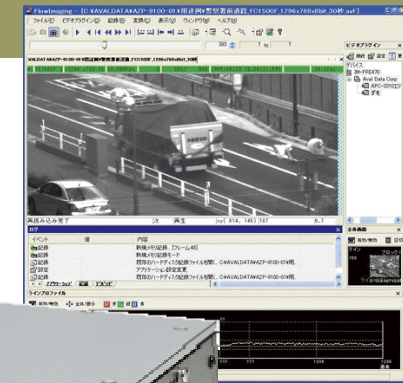
- Gigaチャネルの応用範囲が拡大、ニーズが増加
- 通信分野を牽引、ビジネスの3本柱の一角に成長
- 高速スイッチ方式の製品「Gigaスイッチ」が完成
- 市場ニーズを実現、より広いマーケットがターゲット



GIGA CHANNEL

◆画像処理製品で活躍の場が広がっています。

- ソフトウェア・製品ラインナップ充実、製品競争力が向上
- 豊富な経験をベースにした「小型画像処理装置」を完成
検査ラインや分析用のプラットフォームとして好評
- 「販売拡大」「商品開発」で海外とコラボレーション実現



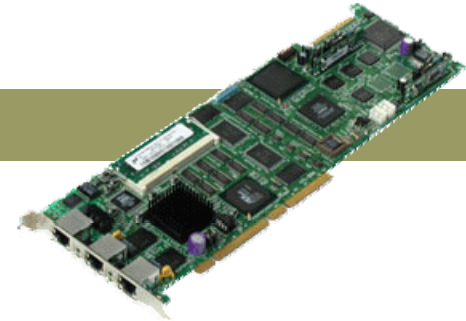


第47期業績トピックスⅤ（技術と製品③）

「強み」と「新たな成長分野」へ選択と集中を加速

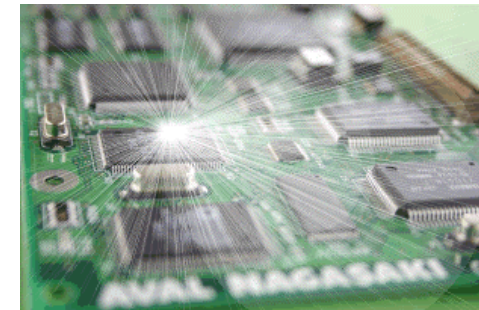
◆好調のCTI・監視製品も次世代対応が進みました。

- 通信大手への大規模CTIシステムの納入が継続
- 国内唯一のサプライヤーとして高い信頼を獲得
- VoIPなど需要が広がるIP製品への対応も順調に推移
- 新分野のサーバ監視装置を大手データセンターへ納入



◆電力計・省エネ製品など環境保護で注目される受託分野も好調です。

- 社会のインフラを支え、環境保護に貢献する有力分野も拡大
- 電力計測、省エネ機器などの受託事業が順調に推移
- 少量多品種からローコスト多量生産までサポート
- 製品開発から量産化技術まで、お客様のニーズに迅速に対応



JASDAQ

コード番号

6918



第50期中期経営計画概要

2006年度・第48期－2008年度・第50期

C501A
challenge501a

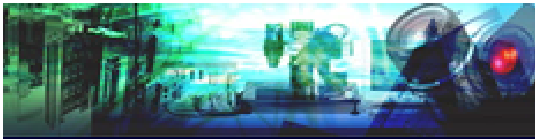
強い体質を維持、攻めの経営へ

2006年9月20日

(CPP-0606-3-C)

 **AVAL DATA CORPORATION**





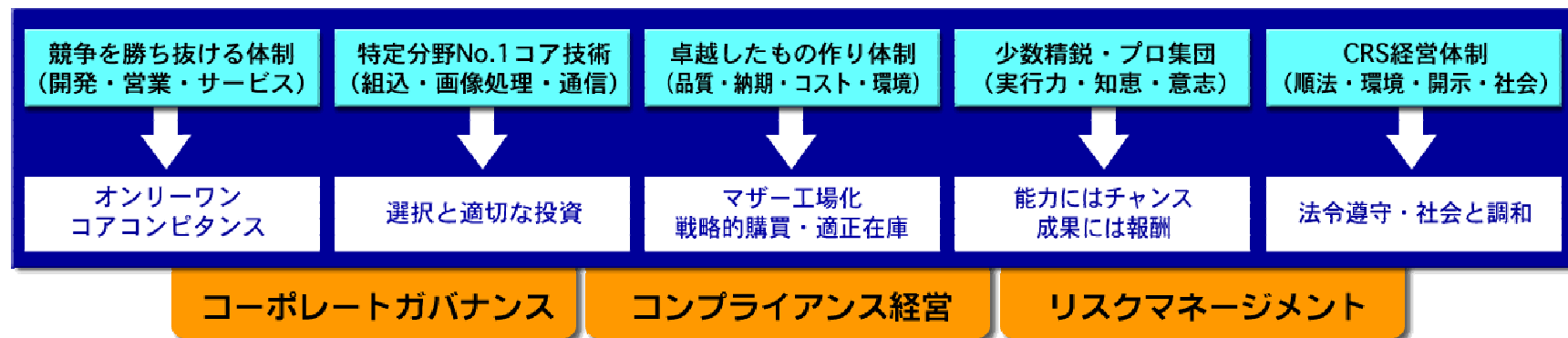
アバールデータの新たな飛躍へ

経営方針（第50期・2009年3月期終了時のあるべき姿）

AVALue+



強い体質を維持、攻めの経営へ





中期経営計画・経営方針

強い体質を維持、攻めの経営へ

成長路線の 維持・強化

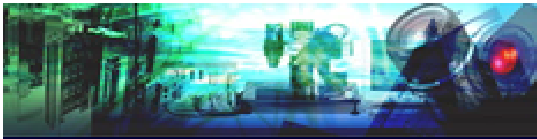
- ・コアコンピタンスの強化
- ・ニーズに先行する製品・技術開発
- ・経営環境の変動に影響されない成長
- ・ステークホルダの信頼獲得

CSR 経営の徹底と 企業価値の向上

- ・法令遵守、情報開示、社会的貢献
- ・コーポレートガバナンス強化
- ・環境対応（RoHS指令対応、緑化支援）
- ・安全衛生、災害への対応（BCP）

利益の最大化

- ・少数精鋭・小さな組織、適正な経費
- ・コアビジネスへの積極投資
- ・コラボレーションでスピード化/高付加価値化
- ・企業価値向上による利益還元

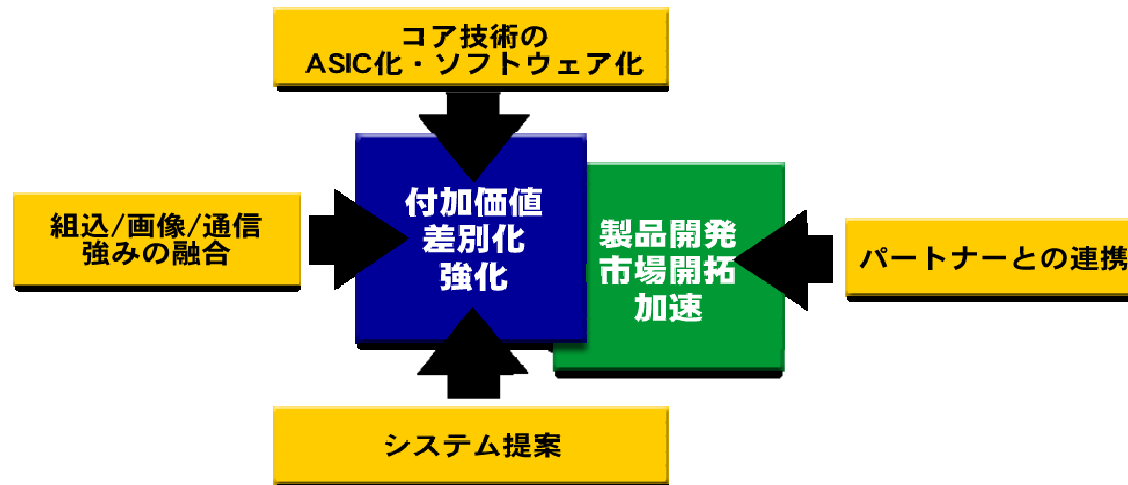


中期業績見通しと事業展開

ボードベンダーからの脱皮、技術のプロバイダーへ

◆コア事業の深化とコラボレーション推進（付加価値・差別化強化・迅速化）

- 「組込・画像・通信」の強みを融合、「コア技術」のASIC化・ソフトウェア化
- 「強いパートナーとの連携」＋「軽いフットワーク」で新規事業を迅速に確立
- 顧客・市場の変化を早期にキャッチアップ、先行開発と提案、総合力で市場開拓



◆顧客ニーズに徹底対応（自社生産で差別化）

- 第3次生産革新（ARP）で「品質・コスト・納期・環境」強化、顧客ニーズへの対応
- 戦略購買、在庫リスク低減、フレキシブル生産、で対応力向上・リスク低減



中期業績見通しと事業展開（受託開発事業）

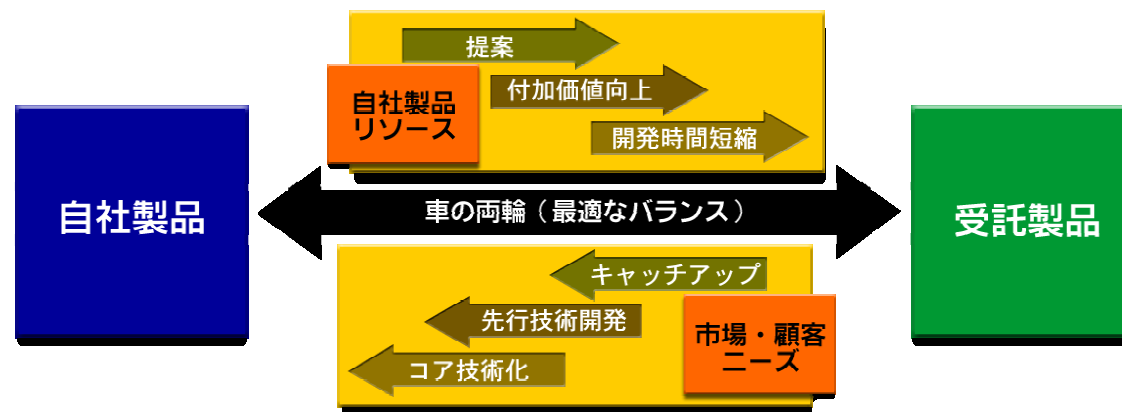
提案による付加価値向上と顧客ニーズへの迅速な対応

◆半導体製造装置業界

- 経営・事業の基軸、付加価値向上、顧客ニーズ対応
- 半導体市況の影響が大、最終製品のコスト競争が激化、大規模化と数量の縮小
- 自社製品技術による提案（付加価値）、顧客要望への対応（生産・納期・コスト）

◆その他分野の受託開発（最終年度の売上比率 25%以上）

- 経営の安定化（売上バランス）、自社製品・技術リソースの活用に重要分野
- 提案力による新規顧客開拓、協力会社との協業によるリソース確保（開発・製造）

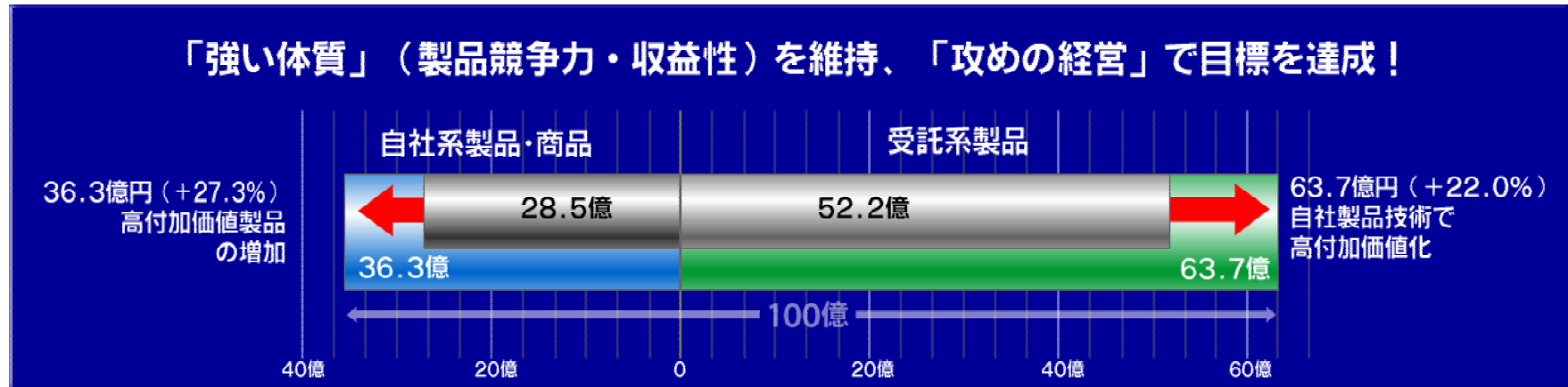




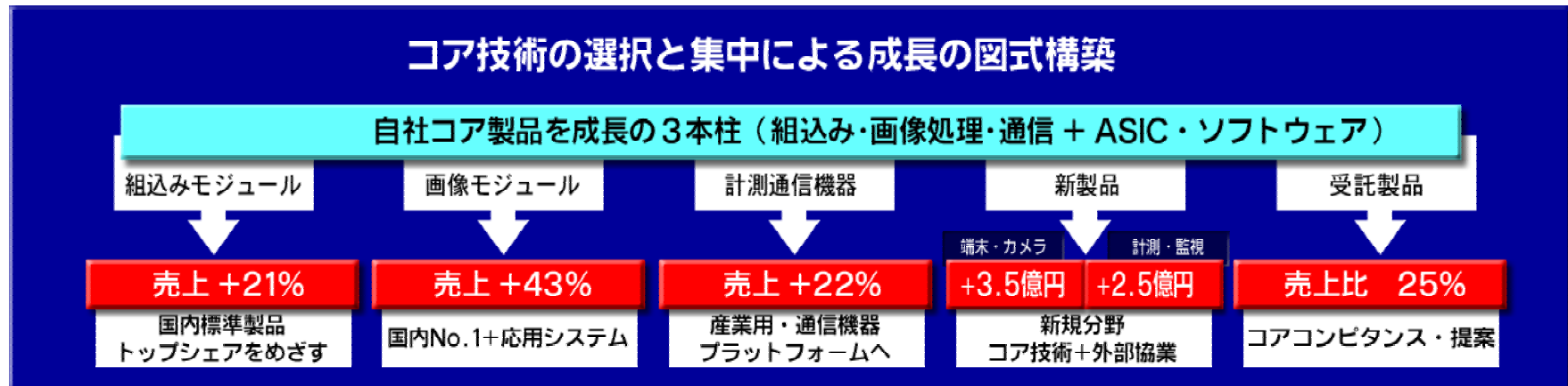
中期事業戦略

最終年度：第50期・2009年3月期終了時の目標

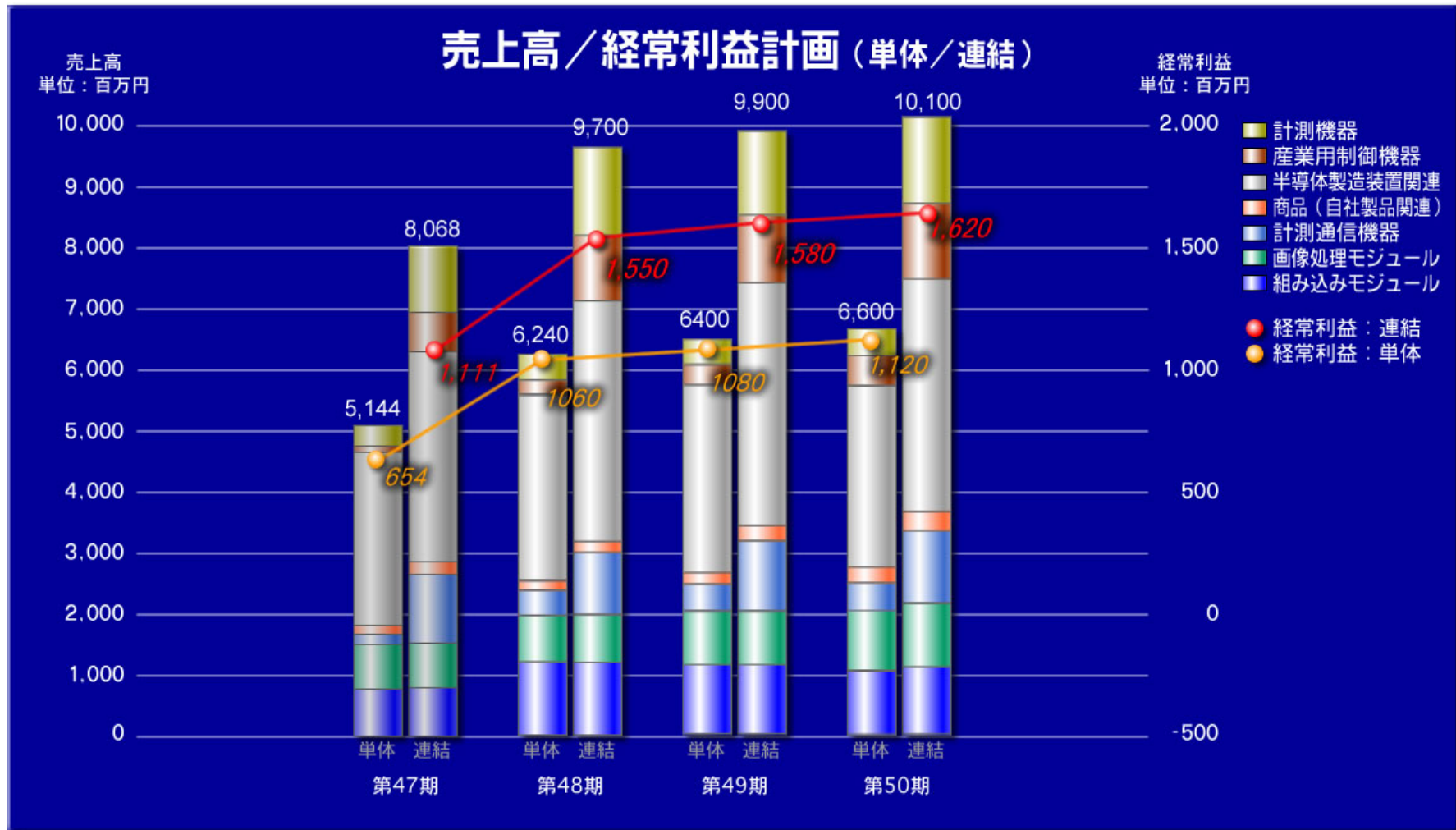
「強い体質」（製品競争力・収益性）を維持、「攻めの経営」で目標を達成！



コア技術の選択と集中による成長の図式構築



中期売上・利益計画（中期計画経過修正）



(注) 自社製品/受託製品の製品構成が第48期から変更されています。



注記

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。